



- 国際会長主題:フェローシップとインパクトで次の100年へ Samuel Chacko (インド)
- アジア太平洋地域会長主題:新しい時代とともに、エレガントに変化を Chen Ming Che (台湾)
- 東日本区理事主題:未来に向けて今すぐ行動しよう 佐藤 重良 (甲府 21)
- あずさ部長主題:ワイズへの参加と交流を楽しもう 後藤 明久 (富士五湖)
- 甲府やまなみクラブ会長主題:準備を整えよう! 藤原 一正



●今月の強調目標
EF・JEF

●今月のことば
「日日是好日」-雨が降っても、風が吹いても変わらぬ心
中国・唐代の雲門禪師のことば 渡邊 隆 君選

今月の例会案内 (第4回)

- 甲府・甲府 21・富士五湖・甲府やまなみ合同例会
- 日時: 2023年1月10日(火) 18:30~20:30
 - 会場: ホテル談露館
 - ▼第1部 セレモニー 司会:渡辺 徳之 MEN
 - ・開会点鐘 甲府クラブ 田中 克男 会長
 - ・ワイズソング・ワイズの信条 一 同
 - ・会長挨拶・ゲスト紹介 甲府クラブ 田中 克男 会長
 - ・今月のことば 甲府クラブ 鈴木 健司 MEN
 - ・挨拶 東日本区理事(甲府21クラブ) 佐藤 重良 MEN
あずさ部部長(富士五湖クラブ) 後藤 明久 MEN
 - ・卓話 「IYC参加報告」
山梨大学生命環境学部 下田 万葉 さん
 - ・諸報告 /ハッピーバースデー&アニバーサリー
 - ▼第2部 懇親祝会 司会:神山 玄太 MEN
 - ・開会の辞 富士五湖クラブ 望月 勉 会長
 - ・食前感謝 甲府クラブ 鈴木 健司 MEN
 - ・乾杯 甲府やまなみクラブ会長 藤原 一正 会長
 - ・ワイズディナー
 - ・新入会員紹介
 - ・バイオリンコンサート バイオリニスト 飯田 華代子 様
 - ・YMCAの歌 一 同
 - ・閉会点鐘 甲府21クラブ 廣瀬 健 会長

12月のデータ

会員数:11名・例会出席:8名・例会出席率:73%
ゲスト:1名(大澤祥子様)・ビジター:6名(例会報告)
ニコニコ:7,700円

ハッピーバースデー

メネット 土橋 真美 (1/18)

●●●● 会長メッセージ ●●●●

年頭にあたり
会長 藤原 一正



新年あけましておめでとうございます。今年も引き続き活動を行ってまいりたいと思いますので御協力のほどをお願い申し上げます。

早いものでチャーターナイトからすでに4カ月余りがたちました。新たに設立したクラブとして、様々な活動をさせていただきましたが、あっという間であったように思います。

ここ何回かは例会を談露館にて開催させていただき、11月は会員の土橋弁護士に、12月は富士五湖クラブの後藤様に御講演いただき様々な知見を得ることができたと思います。

新年は早速北口でのイベント「お正月を遊ぼう」(1月8日)から始まり、新年合同例会(1月10日)にて他のクラブとの親睦を図っていただけたらと思います。また、2月4日、5日には第3回東西日本区交流会が神戸にて開催され、幅広い親睦の機会があると聞いております。これらにも御参加いただける方がいらっしゃいましたら是非ご参加いただけたらと思います。

今年度もあと半年の任期で次年度に引き継がせていただく形となりますが、新たなクラブとして更に仲間を増やし、安定した運営で次年度につなげていきたいですので引き続きよろしくごお願い申し上げます。

●●●● 12月例会報告 ●●●●

12月例会は12月7日(水)、午後6時30分からホテル談露館「武田の間」で開催されました。あずさ部部長の公式訪問ということで、富士五湖クラブ、松本クラブからビジターが出席され、賑やかな例会になりました。

司会は米山俊彦書記、藤原一正会長の点鐘で開会しました。ゲスト・ビジター紹介の中で、松本クラブの大和田浩二会長から、「アジア賞」の紹介と土佐文旦購入のお願いが、また富士五湖クラブの望月勉会長からは友人の尾崎ユタカ氏の銅版画展の案内がありました。尾崎ユタカさんは先般のあずさ部部大会の折、ご夫妻でフォークデュオを演じられ、その後奥様が富士五湖クラブに入会され、この日も出席されました。今月は「キリスト教理解」の強調月間ということで、大澤祥子様に食前の祈りをお願いしました。



ワイズディナーの後、後藤明久あずさ部部長の卓話を拝聴しました。「ワイズの1年～富士五湖バージョン」と題して、20年前のチャーター以降の富士五湖クラブの活動をDVDで紹介されました。発足間もないやまなみのメンバーにとっては、兄貴分に当たる富士五湖の活発な活動は、少し刺激があり過ぎたかも知れません。後藤部長からは、「色々な行事に楽しんで参加して欲しい」というアドバイスがありました。

楽しんで参加して欲しい」というアドバイスがありました。

この後の諸報告では、今後の行事予定と参加の依頼、上部団体への報告事項、ブリテンへの原稿依頼等がありました。

出席:藤原・松本・米山・遠藤(恭)・渡邊・遠藤(成)・福田・仙洞

田、ゲスト:大澤祥子様、ビジター:後藤明久・後藤昭子・望月勉・望月喜代子・尾崎時恵(以上富士五湖)、大和田浩二(松本) (報告・仙洞田安宏)

松本クラブ主催・第24回留学生小論文コンテスト「アジア賞授賞式」に参加して

渡邊 隆

信州大学、松本大学、松本丸の内ビジネス専門学校そして山梨YMCA、東日本区、あずさ部の協力で12月17日(土)、松本市駅前会館大会議室にて開催され、家内と共に出席させていただきました。数年ぶりの参加でしたが、今年度より私費留学生に限らず、公費留学生なども応募できる仕組みに変わり、応募者は31名、年齢は18才から36才、男子12名女子19名、出身国は10か国(中国、韓国、ベトナム、マレーシア、モンゴル、タイ、イタリア、ポーランド、ウズベキスタン、ネパール)に及びました。

「留学生の皆さん、あなたの思いや考えを語ってください、共に未来を作るために」との呼びかけに、コロナ禍を超えて、日本語での表現豊かに、内容を吟味し審査をされた経過が報告されました。審査委員長から縁あって信州を留学先に選んでいただき、末永く友情を温め発展しましょうとメッセージを寄せられました。最優秀賞は信州大学医学部で生命医工学専攻の中国からの留学生で、「人生の豊かさとは」と題した論文でした。

自国で培われた自分、そして留学先で、好奇心をもって、今までの民族文化の外に出て、日本を鑑賞し、もう一人の自分を形成するためにチャレンジした

いとの内容でした。

11名もの受賞者が発表され、賞にもれた20名にも学費補助として賞金が贈呈されました。授与式終了後、留学生との懇談などで、様子を顧みることができました。

兎に角、日本語が上手で、抵抗なく日本の社会に溶け込められる能力は備わっているように感じ、6～7年前の留学生と比較にならない程、能力が向上していることに驚きました。

その後、松本クラブの例会場で松本クラブの皆様、板村哲也元東日本区理事(あずさ部地域奉仕事業主査)、後藤明久あずさ部部長、遠藤通寛元西日本区理事率いる大阪泉北クラブの皆様と楽しい食事をしながら、懇談することができました。やまなみワイズもスポンサーに名を連ねることができればと思いました。



松本クラブ・大和田会長から表彰される留学生

やまなみメンバー今年の抱負

遠藤恭範) お客様の家を建てさせて頂いたり、リフォームさせて頂いたりすることは得意です



が、数年前より計画している我が家の新築は、物価高を言い訳にしたり、日頃の忙しさにかまけて、建てる事が出来ていません。昨年四人目の子供が誕生し、現在の住まいが更に狭くなってしまったことで、家族も新居を熱望していますので、覚悟を決めて家を建てます。

松本公夫) 現在YMCAはじめ自治会等各種8つの役員を仰せつかって遂行してきていますが、心残り一つあり、それはコロナ禍でインバウンド海外からの訪問者が少なく長年夏の週末だけ会員と継続してきた富士河口湖駅での観光案内が一度も出来ませんでした。令和5年度も各種役員業務を全うするためには、まず規則正しい生活(運動、食事、睡眠等)をして健康維持に務めて行く所存であります。

米山俊彦) 年頭に当たり、真っ先に願う事は、新型コロナウイルス感染症の収束です。この3年間は、様々な行動制限や自粛などで、これまでの生活様式を大きく変えざるを得ない状況が続いてきました。今年こそ

は、コロナウィルスと共存する社会の実現を期待して、ワイズメンズ活動をはじめ、「学び直し」と「新たな交流」に繋がる活動に積極的に取り組みたいと思っています。

渡邊隆) 世の中では、人生100年とよく言われます。それを4で割ります(quarter)と、わが人生は何んとなしに3/4(three quarter)を消化したような気がします。しかし、落胆する必要はありません。76歳は残りの1/4のスタートです。残りの25年生かしてくれるのであれば、まだ遅くありません。ワイズも一年生ですので、皆様の指導を頂きながら、これからの25年の計画を練りたいと考えます。「いや、そんなこと考えてもしょうがない。自然に任せろ」と言われると思います。

福田奈里子) 曾祖母から譲り受けた和ダンスが私の宝物ですが、そこに入っている着物を着る機会がなかなかありません。普段着の着物をもっと気軽に身につけて、お休みの日は着物で過ごす、、、なーんていう生活に憧れます。今年はそんな心に余裕のある暮らしを目指したいです!

仙洞田安宏) 今年は「古来稀れ」な年齢になるので、今まで経験した事のない稀なことに挑戦してみたいと思っています。

清走中 - 甲府編 vol.2 担当主事 福田奈里子

12月24日(土)、無事「清走中甲府編Vol.2」を盛会のうちに終えることができました。

今回は、甲府の町にゴミをまき散らす悪の組織に怒った武田信玄公がサンタクロースに助っ人を頼み、2人がタッグを組んで参加者に清掃を呼びかける設定でした。今回の特色として、甲府市中央商店街のお店にご協力を頂き、アイテム交換所やレアゴミ(金のペットボトル)を置かせてもらうなど、より地域に密着したイベントとなりました。これにはお二人の甲府市議会議員様にご尽力いただき、商店街とYMCAとの関係性を結んでいただきましたこと、感謝申し上げます。

また、アメリカ人、ネパール人、ウクライナ人、また、ブラジルにつながりのある学生さんなど多国籍な参加者が運営ボランティアや参加者として関わって下さったことも今回の特筆すべき特徴でした。特にウクライナのことを覚えて、清走中の特別アイテムに「平和の軍手」を設けることで、平和のテーマを盛り込みました。高校生ボランティアの募集にあたっては県立青洲高校に格別のご理解、ご協力を賜りました。昨年10月に開催された、やまなみクラブ主催のグローバルフェスタで知り合ったことがご縁で実現できました。深く感謝申し上げます。これらの全てを後方から支援をしてくださった、甲府市様、甲府市教育委員会様、そしてワイズメンズクラブの各クラブの皆様には今回も感謝の気持ちでいっぱいです。「みつ

かる・つながる・よくなっていく」を目指すYMCA運動のひとつの形が地域の中で一つ小さな実を結んだことを実感しています。これらの実が成長し、また別の実を茂らせることができるよう、末永きユース育成のご支援を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

▼参加者: 大人61名、子ども(小学校~高校)55名、未就学児11名、計127名

▼集めたゴミの量: ペットボトル: 20.865kg、ビンカン: 35.056kg、その他: 51.797kg、タバコ: 1910g(1本0.5g換算で3820本) 計: 109.628kg

▼ボランティア: 高校生10名、大学生9名、社会人1名、ワイズ8名、合計28名、YMCAスタッフ4名



※「清走中」は、Y's×SDGs Youth Action2022補助事業、および甲府市SDGs推進助成金交付事業です。甲府やまなみクラブからは仙洞田会員が参加し、甲府21クラブのメンバーとともにゴミの計量を担当しました。(編集者)

12月例会ビジターのニコニコメッセージ

▼あずさ部部長の公式訪問に呼んで頂きありがとうございます。甲府やまなみクラブの楽しさ、良さをかんじました。これからは貴クラブが先頭を走る機関車となって進んでいくことを信じています。よろしく願い致します。(後藤明久)

▼部長卓話ということで映像は短時間で私が作成させていただきましたが、富士五湖クラブはこんな活動しているよ！ってことがわかっていただければ幸いです。甲府やまなみクラブのこれからの活動が楽しみです。これからのお付き合いよろしく願いします。(後藤昭子)

▼美味しい夕食もいただきありがとうございました。やまなみのますますの発長をお祈りします。(望月勉)

▼やまなみクラブの例会ははじめてなので楽しみです。食事もあり、ありがとうございます。(望月喜代子)

▼まだ入会したばかりですが、少しずつ学ばせていただき皆さまと活動していけることを楽しみにしております。本日はありがとうございました。(尾崎時恵)

▼チャーターナイト以来、初めて例会に出席させて頂きます。アジア賞と文旦のアピールをさせて頂き、感謝です。(大和田浩二)

今月のことば

「日日是好日」

正月の床の間の掛け軸に、よく掲げられる仏教の言葉です。好日とは、素晴らしい日のことです。天気の良い、気候の良い日だけではありません。マンネリ化していない充実した日々です。いつも緊張した張りのある生活を言います。良い日も悪い日も自分の日々の行いによって作られるものです。どんな日も幸せのタネをまくことができる素晴らしい日(好日)とされています。そして毎日楽しく平和な良い日が続くことを願っています。良い日、良い年になるように、日々の行いに心掛けていきたいものです。(渡邊 隆)

今月の強調目標

E F (Endowment Fund) エンダウメントファンド
国際協会の財政的な安定およびワイズダム発展のための基金。個人/クラブが特定の人を記念して献辞とともに120スイスフラン以上の寄付を行うか、個人/クラブとして寄付のみを行うかの2種類がある。前者は、国際本部に永久保管されている「ゴールデンプック」に献辞が記載される。後者は、一定金額以上の寄付を行った場合、献金額に応じて称号が与えられ、「ゴールデンプック」に氏名が記載される。

「土佐文旦」購入のお願い

2ページに報告があります松本クラブの「アジア賞」の資金源となります、「土佐文旦」の購入のお願いが同クラブから来ています。

●1箱 10kg (16~23個入り)

●郵送・梱包の都合上、購入は2箱以上、偶数箱でお願いします。

●価格 2箱8,000円

●申込締切 1月14日

●出荷時期 2月20日以降

クラブで纏めて発注しますので、希望者は米山書記まで。一人分が多い方は二人で1箱購入も可です。

諸連絡

- ✓後期半年報の締切が**2023年1月10日(火)**です。クラブから後藤あずさ部長へ報告
- ✓次期クラブ会長を選任し、**1月28日(土)**までに次期部長(長野クラブ・森本俊子さん)へ報告
- ✓後期の東日本区費の納期が**2月15日**です。従ってクラブ会費(後期分)を2月例会で徴収します。

行事予定

- ✓**1月8日(日)**
 - ・お正月を遊ぼう(甲府駅北口よっちゃばれ広場)
- ✓**1月10日(火)**
 - ・4クラブ(甲府・甲府21・富士五湖・やまなみ)合同新年例会、18:30~(ホテル談露館)
- ✓**2月1日(水)**
 - ・2月TOF例会(山梨YMCA)
- ✓**2月4日(土)・5日(日)**
 - ・東西日本区交流会
- ✓**2月11日(土)**
 - ・あずさ部評議会(ホテル談露館)

JEF (Japan East Y s Men s Fund)

東日本区ワイズ基金

東日本区ワイズ運動の安定的かつ継続的發展を支えるため、個人、クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事の折等に、基金に寄付を行う。寄付者氏名とその理由は、「奉仕帳」に記帳、永久保管される。(2022-2023東日本区ハンドブック・ワイズ用語より)

お断り:YMCAだよりは掲載できませんでしたが、別途紹介します。